

☆知って得する情報(第2回)

: N I S A の活用 (少額投資非課税制度)

昨年1月からスタートした少額投資非課税制度は、1年たった12月末時点で825万口座を超え、総買い付け額は約2兆9,740億円でした。ところが、今年3月末時点で総口座数は約879万口座となり、昨年末から6.5%の増加。

総買い付け額は約4兆4,110億円で、昨年末から48%も増加しました。わずか3か月で、今年の利用枠での買い付け額が昨年1年間の約半分に達しています。それだけ投資意欲が増しているようにも見えますが、実際のところ口座を開設したものの金融商品を買っていない人もたくさんいます。

口座全体の稼働率は、金融機関で45.5%、証券会社で48.4%、主要証券10社で52.2%で口座開設後も利用していない人が多いということです。

口座開設者の半数以上占めるのは60歳以上。買い付け額が多いのも60代、70代、50代。一方、投資信託など毎月1万円程度の少額から購入できる積立投資の契約は、各年代に幅広く利用されています。

N I S Aは現在、年間100万円までの投資で生じる利益が非課税になりますが、来年から投資額の上限が年間120万円へとアップします。積立投資の場合は毎月10万円まで可能に。口座開設後に利用していない人や、まだ開設していない人も、今後の利用を考えるいい機会と言えるでしょう。